2024年3月期第2四半期

決算説明会資料

澁澤倉庫株式会社（証券コード：9304）

2023年11月20日

INDEX

1 2024年3月期第2四半期決算概要 2

- 連結経営成績 3
- セグメント別 業績 4
- セグメント別 概況 5
- 物流事業の概況 6
- 業務別 営業利益 増減要因 7
- バランスシートの状況 8
- キャシュフローの状況 9

2 2024年3月期業績予想 10

- 連結業績予測 11
- 株主還元 12

3 中期経営計画の進捗 13

- 資本コストを意識した経営の実現に向けた対応 14-15
- 中期経営計画の進捗 16
- 中期経営計画2023の成長戦略サマリー 17
- 成長戦略 18
- サステナビリティ経営の取組み 19
- サステナビリティ推進 20

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

1

2024年3月期第2四半期決算概要

© 2022 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

連結経営成績

- 海上・航空運賃単価が下落したことを主要因に前期比減収減益
- 当期純利益は、前期に発生した負ののれん益が解消したことで減益

単位：百万円	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前期比	
			金額	比率
営業収益	39,357	37,094	▲2,262	▲5.7%
営業利益 営業利益率	2,454 6.2%	2,148 5.8%	▲305 —	▲12.4% ▲0.4P
経常利益	3,051	2,634	▲417	▲13.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,426	1,752	▲673	▲27.8%

© 2022 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

セグメント別業績　＜売上高・営業利益＞

澁澤倉庫 Shibusawa Warehouse

物流事業

営業収益　前期比　２１億１千６百万円　（5.8%）減
営業利益　前期比　１億４千５百万円　（8.1%）減

不動産事業

営業収益　前期比　１億８百万円　（3.5%）減
営業利益　前期比　６千２百万円　（4.0%）減

単位：百万円

	営業収益（連結）				営業利益（連結）			
	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前期比 金額	前期比 比率	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前期比 金額	前期比 比率
物流事業	36,360	34,243	▲2,116	▲5.8%	1,786	1,641	▲145	▲8.1%
不動産事業	3,103	2,994	▲108	▲3.5%	1,565	1,503	▲62	▲4.0%
調整額	▲106	▲144	▲37	—	▲898	▲995	▲97	—
合計	39,357	37,094	▲2,262	▲5.7%	2,454	2,148	▲305	▲12.4%

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

セグメント別　概況

澁澤倉庫 Shibusawa Warehouse

物　流　事　業

営業収益/利益　推移　（単位：百万円）

《入出庫取扱量》　前期比▲2.3%　（約▲62,000ﾄﾝ）
《荷捌取扱数量》　前期比▲2.3%　（約▲27,000ﾄﾝ）
《燃 料 油 価 格》　前期比＋0.2%　（約＋3.2円/ﾘｯﾄﾙ）
《航空輸出貨物》　前期比▲47.6%　（約▲1,000ﾄﾝ）

不 動 産 事 業

営業収益/利益　推移　（単位：百万円）

《不動産賃貸面積》　前期比▲1.7%　（約▲1,600㎡）

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

物流事業の概況

- 倉庫業務：機械部品等の保管や流通加工業務の取扱増加、前期中に取扱いを開始した業務が寄与
- 港湾運送業務：輸出入荷捌業務の取扱減少
- 陸上運送業務：日用品等の輸配送業務やフェリー輸送業務低調
- 国際輸送業務：海上・航空運賃単価が前期比で下落、輸出入航空貨物、海外現地法人の取扱減少
- その他の物流業務：横浜地区でのＲ＆Ｄ施設賃貸の稼働率向上

単位：百万円	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前期比	
			金額	比率
倉庫業務	8,995	9,024	＋28	＋0.3%
港湾運送業務	3,427	3,283	▲144	▲4.2%
陸上運送業務	16,301	16,246	▲54	▲0.3%
国際輸送業務	6,254	4,154	▲2,100	▲33.6%
その他の物流業務	1,381	1,535	＋153	＋11.1%

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

業務別 営業利益 増減要因

営業利益増減

《物流事業》

- **倉庫業務**
  - DOWN 人件費高騰に伴う作業費増加
  - UP 構内作業など業域拡大・業務効率化
- **港湾運送業務**
  - DOWN 輸出入荷捌業務減少
- **陸上運送業務**
  - UP 引越業務増加
- **国際輸送業務**
  - DOWN 輸出入航空貨物の取扱減少
- **その他物流業務**
  - UP R&D併設型物流施設稼働率向上

《不動産事業》

- DOWN テナント工事請負業務減少

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

バランスシートの状況

- 社債の償還・借入金の約定返済により、負債が約69億円減少・D/Eレシオ低下
- 四半期純利益の計上等により、自己資本比率が4.2ポイント増加

連結貸借対照表

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

キャシュフローの状況

- 営業キャッシュフローは純利益の計上を主要因に25億円のキャッシュイン
- 投資キャッシュフローは物流施設の取得を主要因に40億円のキャッシュアウト
- 財務キャッシュフローは社債償還と株主還元で93億円のキャッシュアウト
- 現預金は76億円減少

《キャッシュフローの主な内訳》

● 営業キャッシュフロー	＋25億円
税金等調整前純利益	＋26億円
減価償却費	＋14億円
売上債権/仕入債務の増減	▲7億円
法人税等	▲8億円
● 投資キャッシュフロー	▲40億円
設備投資	▲40億円
システム投資	▲1億円
● 財務キャッシュフロー	▲93億円
社債償還・借入金	▲85億円
配当金支払	▲ 7億円
● 現預金の増減	▲76億円

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

2

2024年3月期業績予想

© 2022 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

連結業績予測

- 海上・航空運賃単価が前期比で下落
- 前期に稼働を開始した拠点が期初から寄与
- 下半期から新規業務の取扱開始
- 横浜市のＲ＆Ｄ併設型複合施設がフル稼働
- 不動産事業はオフィスビルを中心に稼働は安定的に推移

単位：百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	当期比	
			金額	比率
営業収益	78,504	79,000	495	＋0.6%
営業利益 営業利益率	4,894 6.2%	4,700 5.9%	▲194 —	▲4.0% ▲0.3P
経常利益	5,847	5,300	▲547	▲9.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,759	3,600	▲159	▲4.2%

© 2022 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

株主還元

- 2024年3月期は1株あたりの年間配当金95円、前期より10円増配の計画不変
- 株主還元を強化

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

3

中期経営計画の進捗

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

資本コストを意識した経営の実現に向けた対応（1）

澁澤倉庫 Shibusawa Warehouse

課　題　**PBR1倍を下回っている状況からの脱却**

- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応
- 資本収益性（ROE）の底上げ
- 構造改革の早期実行
- 機関投資家との対話の強化
- 当社の成長戦略の発信

取組み方針・施策

次期グループ中期経営計画とあわせて開示予定

株 価	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期2Q
	1,682円	2,026円	2,263円	2,312円	2,222円	3,045円

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

資本コストを意識した経営の実現に向けた対応（2）

澁澤倉庫 Shibusawa Warehouse

PBR1倍超

ROE　資本効率性・収益性　×　**PER**　企業の成長期待

利益創出力の強化

専門性の追求	➔少量多品種型貨物に対するトップクラスの対応力
業域の拡大	➔物流の枠にとらわれないサービスの提供
DX・デジタル化	➔柔軟な波動吸収力、RPA・オープン配車システム
成長投資	➔カテゴリー専用倉庫（飲料・危険物）の開設

ESG/非財務投資

- ESG経営の高度化による潜在的な損失リスク低減と収益機会の拡大
- 非財務資産への投資
  - ➔ イノベーション投資、IT投資を含めた知財戦略の整備
  - ➔ 多様な人材への投資や人材活躍の新たな仕組み構築

財務戦略・資本政策の強化

- 政策保有株の計画的な縮減取組み
- 配当による株主還元の強化
- 株価動向も総合的に勘案した自己株式の取得検討

IR活動の強化

- IR機能担当部署の強化
- 対外発信の強化
- 統合報告書など情報発信の充実
- コーポレートサイトリニューアル

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

中期経営計画の進捗 ＜財務＞

単位：百万円	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 予想	2023年度 中計目標値
営業収益	65, 328	71, 746	78, 504	79, 000	73, 000
営業利益	3, 627	4, 516	4, 894	4, 700	4, 500
経常利益	3, 929	6, 925	5, 848	5, 300	4, 700
営業利益率	5. 6%	6. 3%	6. 2%	5. 9%	6. 2%

物流事業

- 新規拠点開設
- 構内作業等の業域拡大
- DX推進で業務効率化・差益率向上
- 2022年度は海上・航空運賃単価上昇の特殊要因、2023年度は反動減
- 2021年度に澁澤物流(上海)、2022年度に平和みらい㈱を連結化

不動産事業

- 中期経営計画期間中はほぼフル稼働
- テナント請負工事等の取扱増加

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

中期経営計画2023の成長戦略サマリー

DX推進による業務効率化	✓ 自動搬送システム、無人フォークリフト導入し省人化を実現するとともに、24時間稼働にも対応できる飲料に特化した物流拠点を千葉市に開設 ✓ 輸入雑貨、アパレルなどの多品種少量アイテムのEC出荷の増大による小口出荷を効率的に行える自動仕分け3Dロボットを松戸市・横浜市などの拠点に導入
拠点拡充による対応力強化	✓ 国内物流拠点の新設（横浜市本牧ふ頭、千葉県千葉市） ✓ 危険品倉庫の新設（大阪府茨木市、神戸市中央区、栃木県芳賀郡） ✓ 平和みらい㈱を連結子会社化、静岡県下におけるネットワーク拡大
物流の枠を超えた業域の拡大	✓ メーカーの生産拠点における構内作業の受託 ✓ 海外での販路開拓も含めた日本食材の輸出代行、現地でのコールドチェーン物流
ESGの取組み	✓ 主要賃貸オフィスビルへ再生可能エネルギー電力100%導入 ✓ BYD社の電気自動車（EV）導入、リチウムイオンバッテリーフォークリフト導入 ✓ ㈱データ・キーピング・サービスとの協業によるオフィス文書のリサイクルサービス展開

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

成長戦略 ＜国内物流ネットワークの拡充＞

澁澤倉庫 Shibusawa Warehouse

- 危険品保管倉庫の庫腹不足による需要の取り込み
- 高回転/高付加価値貨物の取扱いによる採算性の向上
- リチウムイオン電池の保管等により事業活動を通じた環境課題解決

栃木営業所　危険品倉庫

所在地　：栃木県芳賀郡芳賀町
延床面積：約2,000㎡
竣工時期：2024年9月予定
取扱貨物：危険物第4類
【1棟】定温倉庫・自動ラック導入

神戸七突　危険品倉庫

所在地　：兵庫県神戸市
延床面積：約1,700㎡
竣工時期：2024年4月予定
取扱貨物：危険物第4類

茨木営業所　危険品倉庫

所在地　：大阪府茨木市
延床面積：約850㎡
竣工時期：2024年3月予定
取扱貨物：危険物第4類

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

サステナビリティ経営の取組み

澁澤倉庫 Shibusawa Warehouse

BYDジャパンとの業務提携

BYD製商用EV導入

給食配送 引越配送	・さいたま市内での定期運行を実施 ・梱包資材のお届け/回収にEVを導入 ・梱包資材のリサイクルに寄与
導入効果	・CO2排出量削減　約1.3t-CO2/年/台 ・エネルギー効率　160%向上
《方針》 環境車両 導入拡大	・走行データの収集を継続 ・効果的な業務へのEV導入促進

BYD製電動フォークリフトの国際複合一貫輸送

時期 対象	・2023年7月開始 ・リチウムイオンバッテリーフォークリフト
業務	・中国/日本の国際複合一貫輸送 ・一時保管・国内納品先までの配送
《拡大》 輸入検査 代理販売	・車体検査・整備に必要な体制構築 ・サーキュラーエコノミー転換

カーボンニュートラル社会の実現
サーキュラーエコノミー転換に貢献するビジネスの協働

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

サステナビリティ推進

事業用建物の環境負荷低減

賃貸オフィスビルの再エネ導入率向上

2021年度　　4.3%
2022年度　　44.4%　に向上

次期中期経営計画期間中に100%を目指す

新倉庫建設における環境配慮

横浜市の本牧新倉庫は環境配慮型施設として建設

建設計画はCASBEE Aランク認証

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.

ディスクレーマー

当社は、今後とも投資家様との対話を深め、
企業価値の向上につとめてまいりますので、
よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、
実際の業績等は経済情勢、経営環境の変化等により異なる可能性があります。

© 2023 The Shibusawa Warehouse Co., Ltd.